



Red Hat Ansible Automation Platform/ Ansible導入サービス案内資料

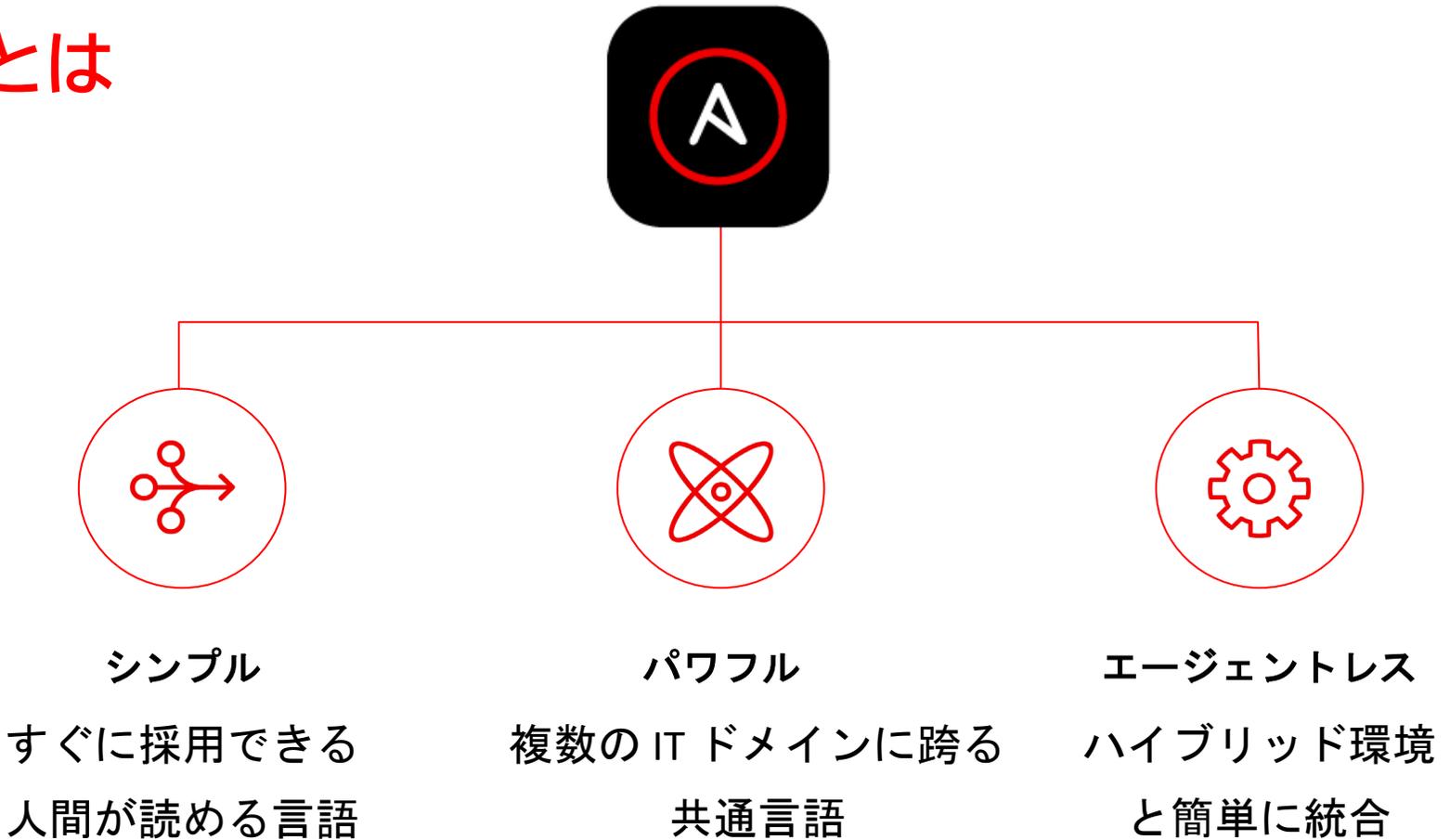
ダイワボウ情報システム株式会社
販売推進本部 クラウドグループ



Red Hat Ansible Automation Platform

Red Hat Ansible Automation Platformとは

- ▶ Red Hat社の提供するエンタープライズ向け自動化プラットフォーム
 - ▶ Ansibleで様々なITインフラの自動化が可能
 - ▶ GUIの自動化運用プラットフォーム
 - Ansible Automation Controller
 - 自動化の動力部
 - Ansible Core
- 2つ合わせて
Ansible Automation Platform



Ansible Automation Platformの特徴①



Simple

▶ Simple

→ 手順書に落としていた作業をコード(**Playbook**)で実行

▶ 小さな手順から自動化

→ 複数をつなぐことで大きな自動化へ

▶ ボタン化

→ ボタンを押して実行するイメージ

- ・作業を機能化して別の人へ実行
- ・実行権限を必要な担当者へ移譲可能

→ 属人化の排除

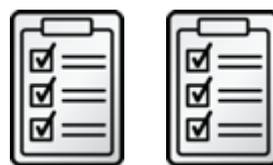
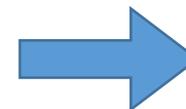
- ・小さな手順、機能を連結して大きな作業も自動化



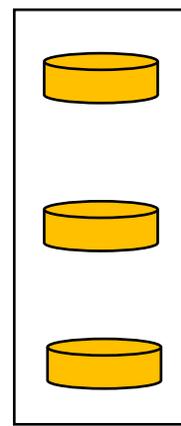
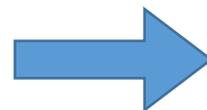
手順書の1工程



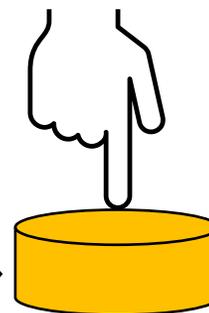
Playbookで実行



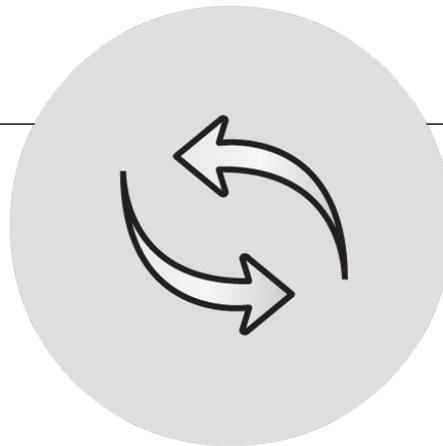
作業 = 複数の工程



工程を連結して作業をの自動化



Ansible Automation Platformの特徴②



Powerful

▶ Powerful

→130以上の認定コレクションで、
様々なベンダー、
アプリケーションに対応。

※右記は一例

▶アプリケーションだけではなく
様々なIT機器にも対応。

- サーバー
- ネットワーク
- ストレージ
- クラウド
- コンテナ
- 仮想環境



PostgreSQL



Google Cloud Platform Live



FreeBSD



Ansible Automation Platformの特徴③



Agentless

▶ Agentless

→ 操作対象機器側への専用ソフト(エージェント)インストール不要

▶ 一般的な自動化製品では事前にエージェントの導入が必須。

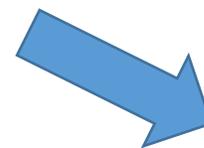
→ Ansibleでは自動化を導入する際の、手間とコストを削減。

▶ 後から自動化対象を広げる際も、スムーズな導入が可能。

 **Red Hat**
Ansible Automation Platform



エージェントレスで
容易な初期導入



 **Red Hat**
Ansible Automation Platform



他環境、内製化の拡張も容易！

活用事例 ネットワーク機器管理

- ・VMwareを使った仮想化環境の運用管理にAnsibleを採用
障害発生時のログ収集、firewallの設定変更、仮想マシンの払い出しなどを自動化
作業時間を1時間→**15分**へ短縮
- ・Ansible導入によるコスト削減成果
導入から半年後の効果測定で運用工数から**50%低減**できたことを確認。
4年間で4000万円程度のコスト削減を試算。
信頼性の高いHA構成を構築できリモートオフィスネットワーク接続が改善。
- ・作業品質の向上
手作業で行っていた運用を自動化することで**作業ミス・手戻りが無くなる**。
Firewallの**設定変更の誤りによるリスクを低減**

構成例:

100ノードへ適用するStandardサポートのサブスクリプション4年分を購入する場合

→Red Hat Ansible Automation, Standard (100 Managed Nodes), 3Y×1、
Red Hat Ansible Automation, Standard (100 Managed Nodes), 1Y×1、
型番：MCT3691F3×1、MCT3691×1 合計:¥6,506,500

Ansible Automation Platform サブスクリプション製品詳細

▶購入単位:100ノード

→ノード・・・Ansibleで管理する各機器
例)コンテナ、サーバ、ストレージ、ネットワーク…etc

大規模用途として5000,10000ノード製品もございます。

▶サポート種別

ビジネスに合わせた2パターンのサポートを提供。

- Standardサポート(平日9-17h 対応)
- Premiumサポート(24h365d 対応)

▶契約年数

1年or3年

1日単位での期間調整可能(1年未満不可)

【100ノード製品一覧】

型番	サポート	契約年数	定価
MCT3691	Standard	1年	¥2,044,900
MCT3691F3	Standard	3年	¥5,828,000
MCT3694	Premium	1年	¥2,752,800
MCT3694F3	Premium	3年	¥7,845,300

▶お見積り、案件相談

ご担当のDIS営業までご連絡をお願いいたします。

ヒアリングシートにてご利用環境を確認後、
型番・数量を選定しお見積りをご案内致します。

DIS内Red Hat専任担当、またはRed Hat担当者をお送り、
事前MTG・案件のご相談も可能です。



Ansible Automation Platform導入サービス

Ansible初期導入サービス

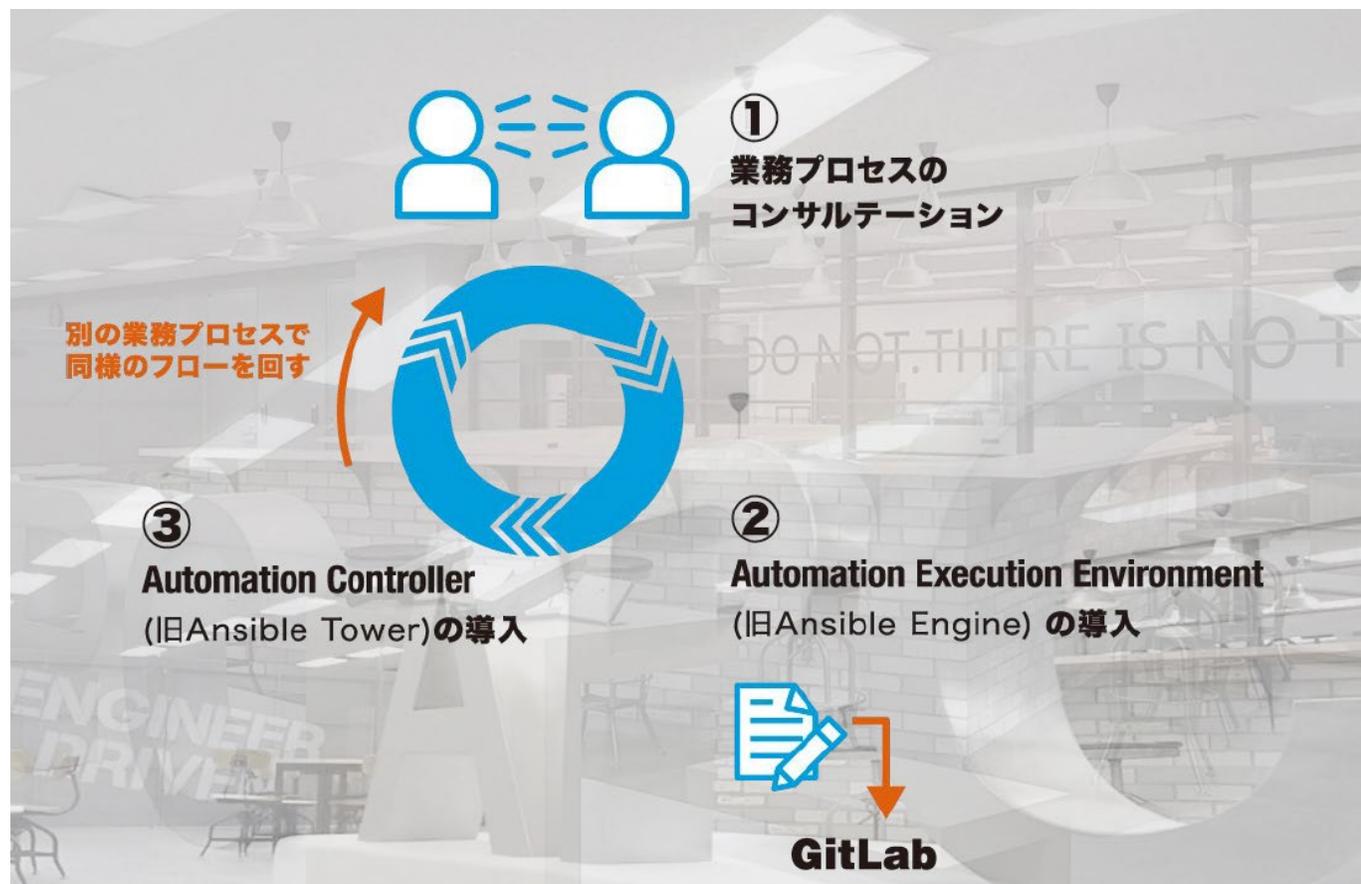
型番:ZAPM-ANA-IS-FY21-002A

【自動化対象の設定～リリースまで初期導入をサポート】

Ansibleの導入、自動化への最初の1歩に最適

- ・自動化対象の作業手順決め
- ・手順書修正に伴う作業内容ヒアリング
- ・**Ansible導入**
(インストール、設定等含む) (右図②、③)
- ・GitLab導入、Ansible連携
- ・**Playbook作成※**
- ・実装、テスト、リリース

※Playbookの詳細はp.12記載



Red Hat Ansible 導入サービス製品一覧

初期導入サービス	メーカー型番	種別	定価	製品説明
Ansible初期導入サービス	ANA-IS-FY21-001A	導入支援	¥1,000,000	Ansibleの初期導入、Playbook開発。

開発・QA・トレーニング	メーカー型番	種別	定価	製品説明
Ansible Playbook初期開発サービス	ANA-IS-FY21-002A	開発支援	¥2,000,000	Ansible導入済みの環境に対してPlaybook作成。
Ansible Playbook追加開発サービス	ANA-IS-FY21-003A	開発支援	¥1,500,000	Ansible導入済み環境へのPlaybook追加作成。※ワークフローの追加単位。
Ansible QAチケットサービス	ANA-QA-FY21-001A	サポート	¥95,000	1チケット x 4H 平日10:00-18:30 時間外は翌日対応。
【基本】Ansible 技術トレーニング 1.5日版(5名受講用)	ANA-TS-FY21-001A	トレーニング	¥425,000	1.5日 x 5名の費用となります。5名以上参加の場合は、追加型番を購入いたただ必要があります。出張講習の場合は、別途費用が掛かります。
【追加】Ansible 技術トレーニング 1.5日版	ANA-TS-FY21-001B	トレーニング	¥85,000	追加のオプション。5名以上の参加の場合の1名あたりの料金です。
【基本】Ansible 技術トレーニング 2日版(5名受講用)	ANA-TS-FY21-002A	トレーニング	¥450,000	2日 x 5名の費用となります。5名以上参加の場合は、追加型番を購入いたただ必要があります。出張講習の場合は、別途費用が掛かります。
【追加】Ansible 技術トレーニング 2日版	ANA-TS-FY21-002B	トレーニング	¥90,000	追加のオプション。5名以上の参加の場合の1名あたりの料金です。

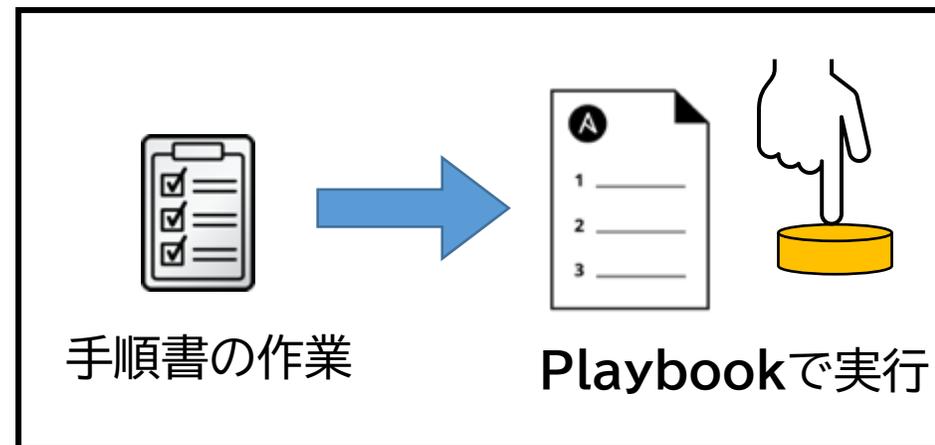
Ansible Playbook 初期開発サービス

型番: ZAPM-ANA-IS-FY21-002A 他1製品

Playbookとは

Ansibleにおいて自動化を行う上で必要となるYAML形式のコード。Playbookの指示に従い各ノードの自動化処理が行われます。作成・配布が容易で学習コスト低いのが特徴。

Playbookイメージ



導入済みAnsibleを対象とした
Playbookの開発・作成代行を行うサービスになります。

初期導入以降、新たにPlaybookを介する場合は本サービスを適用。
更なるPlaybook追加、ワークフローの増大は
追加開発サービスでのご案内となります。

初期導入のPlaybook作成
→初期導入サービスに含む・・・①

①以降のPlaybook開発
→Playbook初期開発サービス・・・②

②以降追加でPlaybookを開発
→Playbook追加開発サービス

Ansible QAチケット サービス

型番:ZAPM-ANAQAFY21001A

- Ansible導入後の不明点や課題を必要な分だけ解決できるチケット制テクニカルサポート。
- 1チケット×4時間分 平日 10:00-18:30での対応(時間外は翌日対応)
- トラブルの解決から開発のQAまで幅広く対応

Ansible トレーニングサービス

型番:ZAPM-ANATSFY21001A 他3製品

- 自社内でのPlaybook開発やAnsible運用を目指したトレーニング。(1.5日or2日)×5名
- 導入した自動化ソリューションを社内、社外へ広げ自動化の促進、新たなビジネスの創出に繋がります。
- オフライン/オンライン選択可
- 個社向けカリキュラム作成可能



ダイワボウ情報システム株式会社